

3学年 社会科校外学習

12月15日(金)：琉球・沖縄の文化財や自然遺産の保全・保存の重要性を学ぶことを目的に、3年生18名が海洋博公園内「おきなわ郷土村(琉球王国時代の集落テーマパーク)」を見学し、伝統的な家屋、昔の人々の心のよりどころとなった御嶽や拝所等を見学しました。



生徒から「沖縄の昔の家づくりの工夫などがわかった」「ヒンプン(壁)の意味や昔のトイレは豚小屋と一緒にだったことを知ることができた」等の感想がありました。

大宜味中「くがに一」発表会

12月20日(水)大宜味中学校の取組として、くがに一発表会が行われ、意見発表や作文発表、日頃の各教科の学習内容の展示物もありました。中学校では、「強く 豊かに 賢く」を目標として地域を担う人材育成を目指しており、後半には地域学習を中心にした総合的な学習の発表がありました。生徒の皆さんは各グループで疑問に思ったことをよく調べており、わかりやすい発表をしていました。私が関心を持ったのは、2年生が世界自然遺産に登録されたことについての発表があり、沖縄県唯一の自然環境科がある辺土名高校についても調べて、発表に含まれていたことは嬉しく思いました。この発表をきっかけにもっと辺高のことを知ってもらいたいと思いました。



全国高校生自然環境サミット In 辺土名

12月26日～28日、全国で自然環境を学ぶ高校が持ち回り開催し、本校では4年ぶりの開催。参加者は1年1組の新垣、比嘉、前川さんの参加及び運営として、実行委員(委員長：上原、副委員長：田中、その他2年生9名、1年生1名)を含めて1道5県の31人の中高生、引率教員等15名が参加しました。プログラムは各学校の研究発表や、実行委員考案のヤンバルクイナの生息を調べる「プレイバック調査」やフィールドワークで、他県とは異なる自然と亜熱帯の貴重な動植物を観察することができ、充実した学習と交流の場になりました。運営の生徒の皆さん、裏方として食事の準備や野外活動の引率、マイクロバスの運転等、理科・環境科職員、東先生お疲れ様でした。



新年(辰年) 二学期始業式あいさつ
新年、あけまして おめでとうございます。
今日、元気でさわやかな顔で皆さんが、ここにいらっしゃることを、これ以上嬉しいことはありません。
新しい学期が始まりました。今年の干支は「甲辰年(きのえたつどし)」です。十干(じっかん)の甲(きのえ)と十二支の辰を組み合わせると最適な年とされています。十二支の「辰」は、新しいことを始めるのに最適な年とされています。甲(きのえ)は「甲乙丙丁酉癸」の始まりであり、物事の始まりととらえることができます。そして辰は発芽した植物がしっかりとした形になる、勢いと大きな力、成功ととらえることができます。この二つが合わさる甲辰年は、新しいことを始めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になると考えられます。何かにチャレンジするのに最適な甲辰年です。皆さまにとって、昇り龍(辰)のように、勢いよく活気あふれる年になりますように



心之介(2歳6ヶ月)